



かつなりくん

かりや

K

市議会

だより

〈第149号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～



ゴールデンウィークは 刈谷市歴史博物館へ



平成31年度予算を可決 総額約920億円

「元気で幸せ」を実感できる
まちづくりを目指して
(関連2、3ページ)

刈谷の歴史を“見る” “知る” “体験する”



山車



万燈



G3型自動織機



着付け体験

主な記事	ページ
31年度予算	2～3
主な議案	4
主要委員会の動き	4～5
議決結果	5
質問・質疑	6～8

3月定例会のあらまし

この定例会は2月14日に招集され、会期37日間で3月22日に閉会しました。今回は議案など31件が提出されました。

主な議案は、平成31年度予算についてや、刈谷市自治基本条例の一部改正についてなどです。

◆2月14日 本会議

(施政方針、議案説明など)

市長から平成31年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から平成31年度教育行政方針が述べられました。

次に、報告議案2議案を了承した後、監査委員の選任について同意しました。

◆22日 本会議(採決)

各委員長から、委員会での審査の経過と結果が報告されました。議員提出議案は否決され、その他の議案についてはいずれも原案のとおり可決されました。

また、副市長の選任についてなど2議案が追加上程され、原案のとおり同意及び可決されました。

3月定例会での傍聴者は延べ177人です。

★傍聴をお待ちしています★

6月定例会の開催予定

- 5月17日(金) 議会運営委員会(運営を協議)
- 29日(水) 本会議(開会、一般質問など)
- 30日(木) 本会議(一般質問など)
- 31日(金) 本会議(一般質問、議案説明など)
- 予算審査特別委員会
- 6月4日(火) 企画総務委員会
- 5日(水) 福祉産業委員会
- 6日(木) 建設委員会
- 7日(金) 市民文教委員会
- 14日(金) 予算審査特別委員会
- 議会運営委員会(運営を協議)
- 17日(月) 本会議(委員長報告・採決など)

- 各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。
- 本会議：市役所10階、傍聴受付
- 委員会：市役所9階、議会事務局受付
- 託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順) 臨時保育室「カンガールーム」をご利用いただけます。傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。
- 手話通訳・要約筆記を希望される方へ 傍聴希望日の1週間前までに議会事務局までご連絡ください。
- 一般質問KATCH放送(地上デジタル11チャンネル) 5月31日(金)、6月3日(月)、4日(火)でいずれも18時から。詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。



平成31年度予算関係

平成31年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。

本会議での質疑

質問・質疑では、市政の方針などを問いました。

本会議での質問・質疑については、6～8ページの「質問・質疑」をご覧ください。

委員会・分科会での審査

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

18日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の計6議案に反対の意見がありませんでしたが、採決の結果、賛成多数によりいずれも原案のとおり可決されました。

22日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、マイナンバー制度を廃止すべきという立場であること、消費税増税分の予算が含まれていること、刈谷城築城に関する予算が含まれていること、後期高齢者医療制度を廃止すべきという立場であることなどをより反対との意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

〔分科会での主な質疑〕

■企画総務

ポータルアプリ情報配信事業

問 平成30年度の事業内容は。

答 ポータルアプリ「あいかり」に実装すべき機能やサービスなどの仕様の検討及び開発を行い、2月12日から配信を開始した。運用開始以降は、ポータルアプリの保守管理委託としてアプリの保守管理を行っている。

問 「あいかり」の写真投稿機能の活用状況は。

答 リリース後、約2週間の間に道路等補修4件、違反屋外広告物1件、公園施設の破損3件の合計8件の投稿をいただき、全ての投稿に対する対応が完了している。



市の情報をアプリで手軽に

■消防団員活動支援事業

問 消防団員に対し、準中型免許の取得費用の一部を補助することだが、現在、ポンプ車を運転できる免許を取得していない団員は何人いるのか。

答 本市の消防団員は、平成30年4月1日現在352名で、そのうち、ポンプ車を運転でき

る免許を所持していない団員は34名である。

問 補助申請の手続きの流れは。

答 免許の取得を希望する団員は、まず自動車学校に入校する前に、市の承認を受け、その後、自動車学校に入校し、免許を取得した後、補助金の交付申請をしていただき、補助金の交付を受けることとなる。

■福祉産業

高専ロボコン2019東海北陸地区大会開催事業

問 大会の概要は。

答 「アイデア対決、全国高等専門学校ロボコンテスト」は、若い人たちが、既成概念にとらわれず、みずからの頭で考えロボットをつくる。その体験を通じて、発想することの大切さ、物づくりのすばらしさを仲間と共有することを目的とした全国規模の大会で、本年は、10月20日にウイングアリーナ刈谷で開催をする。

問 刈谷市で開催することになった経緯は。

答 2019年度は、豊田工業高等専門学校が当番校として大会を運営するが、本市が県内有数のものづくりのまちであると認知されていること、施設の規模から、共催という立場で大会に携わることになった。

■清掃センター移転新築事業

問 事業概要は。

答 現在の清掃センターは昭和51年に建築したもので、築43年を迎えている。施設の劣化度調査により、建物内部や給排水設備が老朽化していることが判明している。し尿処理を行う環境センターの効率的な管理運営等も踏まえ、移転新築をする。

問 建設予定地は。

答 環境センターの北側にある多目的広場に事務所棟とごみ収集車の車庫棟を建設予定である。

問 今後のスケジュールは。

答 2019年度に実施設計、2020年度に建設工事と駐車場の整備、2021年度に現在の清掃センターの事務所棟と車庫を解体する予定である。

■建設

市道01-40号線他道路新設改良

問 J R調査協定委託の内容は。

答 J R調査協定委託の内容は、改良事業計画に伴い、東海道本線逢妻―大府間に新設する跨線橋について、本市で実施した設計をもとに、列車運転保安等を考慮した施工計画の照査をJR東海に委託するものである。委託する主な設計内容は、線路直近の橋脚及び桁架設工事を安全に施工するための施工計画検討である。

問 整備スケジュールは。

答 平成29年度から一般県道刈谷大府線側から本体工事に着手しており、2019年度に予定しているJR東海との調査協定締結を踏まえ、順次、橋梁工事に着手し、2026年度の完了を目標に整備を進めていく。

■わが家の地震対策事業

問 過去3年間のブロック塀等撤去費補助申請のうち、通学路や避難道路沿道の申請件数は。

答 平成28年度は17件中10件、29年度は23件中11件、30年度は2月末時点で67件中34件である。

問 地区と連携して実施したブロック塀等の所在地調査の結果はどのようなものだったか。

答 昨年9月に、市内23地区に対してブロック塀の所在地調査依頼を実施し、地区からの報告を集計した結果、約4,000カ所において高さ1メートルを超えるブロック塀が道路沿いにあることを確認している。現在は、この報告をもとに、ブロック塀の点検を順次実施している。点検結果が不適合となったブロック塀の所有者に対し、注意喚起や補助制度の案内などを実施している。



地震に備え、早めの耐震改修を

■市民文教

■産後ケア事業

問 産後ケア事業では、安心して子育てができるよう、出産後に支援を必要とする母子が、医療機関に宿泊し、身体的及び心理的ケアや保健指導を受けられる。利用人数の見込みは。

答 近隣で実施をしている自治体の実績等を参考に、月に1人、年間12人の利用を見込んで

問 利用者が市民税非課税世帯若しくは生活保護世帯に属する場合、利用料はどのようになるのか。

答 無料である。



不安な気持ちに寄り添います

■日本女性会議開催事業

問 男女共同参画社会の実現に向けた国内最大級の会議である日本女性会議を、刈谷市で開催することとなった経緯は。

答 男女共同参画のさらなる推進を目指し、市制施行70周年の節目に当たる2020年度に日本女性会議を誘致することとした。平成29年9月に、2019年度開催地である栃木県佐野市より指名を受け、刈谷大会の開催が決定した。

問 事業費580万3,000円はどのような内容か。また、2020年度に開催されるイベントの予算は、どのくらいか。

答 事業費のうち、554万1,000円が刈谷大会実行委員会に対する補助金となっている。その主な内容は、10月の佐野大会における刈谷大会のPRに係る経費と、11月の刈谷大会にイベントの開催費用である。また、2020年度本大会の総事業費は、試算で、3,500万円から4,000万円と見込んでいる。これを市からの補助金、企業からの協賛金、参加者からの負担金などで賄う予定である。

平成31年度予算に見る主要事業

都市環境分野・・・

都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆ JR刈谷駅の混雑を解消し、安全性の確保及び利便性の向上を図るため、JRが行う駅ホームの拡幅、ホームドアの設置等を支援。
- ◆ 小垣江町に伊勢山公園を整備することにより、子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場などを提供し、良好な生活環境を創出。



ワークショップでの意見を反映し、公園全体を見渡せる中央に休憩施設を設置

教育文化分野・・・

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆ 児童・生徒の読書量の向上を図るため、学校司書を6中学校すべてに1人ずつ配置し、それぞれの中学校区の小学校を巡回。
- ◆ 歴史や文化財に触れる機会を提供するため、企画展を開催し、さまざまな歴史資料を展示することにより、刈谷の歴史を紹介(歴史博物館)。

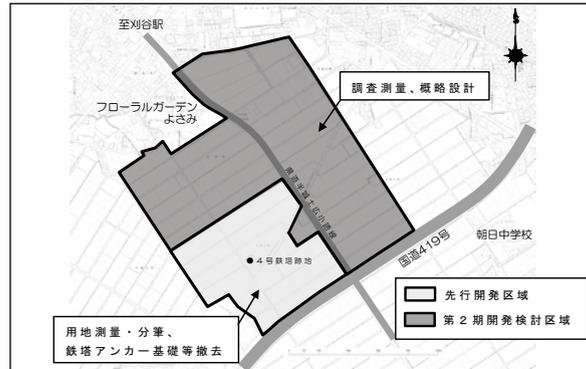


初代刈谷藩主 水野勝成展
裏永楽銭紋黒熊毛二枚胴具足(福山市賢忠寺蔵)

産業振興分野・・・

人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

- ◆ 全国高等専門学校ロボットコンテストを開催することで、「ものづくりのまち刈谷」をアピールするとともに、次代を担う子どもたちを育成。
- ◆ 刈谷依佐美地区において、周辺の優良農地との共存を図りながら、新たな産業集積を促す一団の工業用地整備を推進。



第2期開発検討区域における調査検討

福祉安全分野・・・

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆ 認知症等によるはいかいにより事故等を起こす可能性のある高齢者や家族の損害賠償の負担軽減を図るため、市が一括して保険に加入。
- ◆ 災害発生時のトイレ不足を解消するとともに、衛生的な環境を確保するため、避難所を受け入れる学校施設にマンホールトイレを順次整備。



感染症による災害関連死等を防ぐ

- ◆ 母親が安心して育児ができるよう、出産後4か月未満の母子を対象に、医療機関に宿泊し心身のケアや保健指導を受けられる支援体制を整備。
- ◆ 待機児童の解消を図るため、民間事業者が行う認可保育園の建設に対し、建設費等を補助。建設予定園は2園(銀座、小垣江)。



民間保育園を2園開園し、待機児童解消を図る

計画推進分野・・・

市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

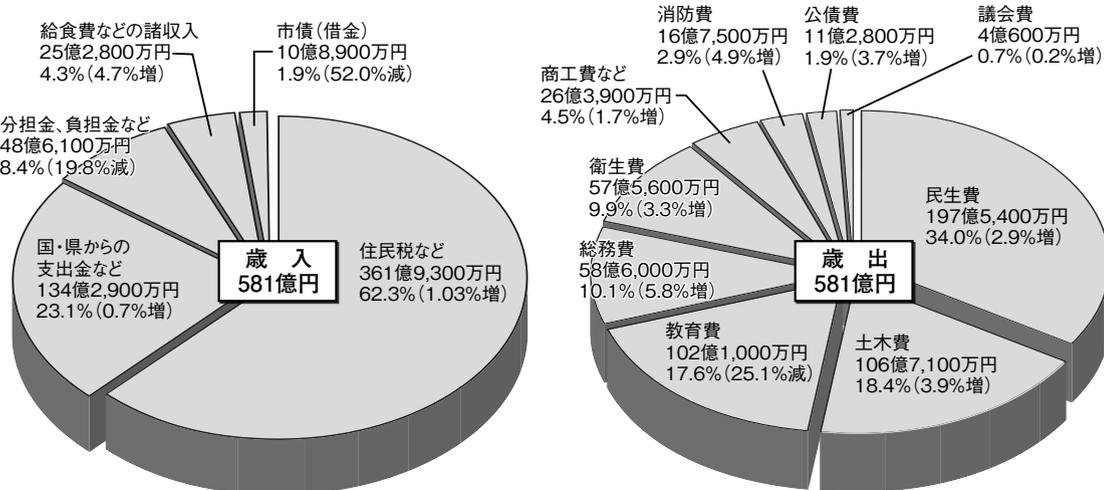
- ◆ 無料Wi-Fi環境を公共施設に整備することにより、利用者の利便性向上を図るとともに、本市の魅力効果を効果的に情報発信。
- ◆ 男女共同参画社会の実現に向けた会議「日本女性会議2020あいち刈谷」の実行委員会が実施するPRイベント等に対して補助。



日本女性会議2020あいち刈谷に向けた市民参加によるワークショップ

一般会計の内訳

()内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特別交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

〈分担金、負担金などの内訳〉 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

〈商工費などの内訳〉 労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

31年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	920億1,400万円	▲9億7,200万円	▲1.0%
一般会計	581億円	▲18億1,000万円	▲3.0%
特別会計	239億9,500万円	10億8,800万円	4.8%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	12億5,000万円	5億600万円	68.0%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億2,000万円	1,300万円	11.8%
国民健康保険	119億5,700万円	▲5,700万円	▲0.5%
後期高齢者医療	19億500万円	9,300万円	5.1%
介護保険	87億6,300万円	5億3,400万円	6.5%
企業会計	99億1,900万円	▲2億5,100万円	▲2.5%
水道事業	38億8,700万円	▲3,100万円	▲0.8%
下水道事業	60億3,200万円	▲2億2,000万円	▲3.5%

※百万円単位で四捨五入しています

主な議案

3月定例会

(要約して掲載しています)

単行議案

■市道路線の認定、廃止及び変更について

株式会社デンソー正門前の認定路線7-114号線は、市道の一部を歩行者専用道路に変更するところがあるが、デンソーに関連した計画があるのか。

株式会社デンソーは、本社正面の緑化事業を計画しており、市と協議している事項が3点ある。1点目は、神明町交差点の東側で県道に鋭角に取りついている市道の一部を歩行者専用道路に機能変更し、遊歩道とするもの。2点目は、デンソー正門南側にある来客用駐車場をロータリー形式に変更するもの。3点目は、現在の正門からの車両の乗入れをなくし、その西側に新しい来客用駐車場の乗入口を設置するものである。

条例議案

■刈谷市自治基本条例の一部改正について

議会の議決を経て、総合計画の基本構想を定めます。

総合計画の基本構想とは。市全体として目標とするまちの姿を示すものであり、これまでの総合計画においては、「刈谷市のめざす都市像」「土地利用構想」「まちづくりの基本方針と施策の体系」などの考え方を位置付けている。

総合計画の基本計画について、議会はどのように関わっていくのか。

基本計画の具体的な施策及び事業の推進については、条例や予算などの議案として議会に諮っていくので、その中で施策や事業のあり方などを議論していただければと考えている。

■副市長の選任について

前任者が平成31年3月31日で退職となるので、後任として次の方を選任することに同意しました。任期は4年です。



近藤 智展 氏 (東境町) 元市建設部長

■監査委員の選任について

平成31年3月31日で任期満了となるので、再び選任することに同意しました。任期は4年です。



太田 力 氏 トヨタ車体株式会社常勤監査役

刈谷市南部福祉センター条例の一部改正について

老人デイサービスセンターたんぽぽを廃止します。

南部福祉センター内にある老人デイサービスセンターたんぽぽの廃止は福祉サービスの再編とのことだが、どのような内容か。

身体障害者デイサービスの利用者の増加が見込まれることや、地域包括支援センターの相談件数が増加している状況を踏まえ、老人デイサービスセンターたんぽぽを廃止し、その空きスペースを身体障害者デイサービスセンターたんぽぽの機能強化及び地域包括支援センターの増設に活用することで、高齢者及び障害者の福祉サービスの向上につなげたいと考えている。

2020年3月末日での廃止に伴う利用者への対応はどうなるのか。

2019年度の早期から周知を開始し、2020年3月までの1年をかけて、本人や家族の意向に十分に配慮するとともに、担当のケアマネジャー等の協力を得ながら、他のデイサービス事業所への転所等の調整を行っていききたい。



刈谷市南部福祉センター (野田町)

刈谷市就学前の子どものための教育・保育施設の設置に関する条例の制定について

就学前の子どもに対する教育及び保育を一体的に行う体制を整備します。

条例において、新たに定められる刈谷市の幼児園の機能とは、どのようなものか。

幼児園は、国の類型でいう幼児連携型認定こども園である。幼稚園と大きく異なる点は、保護者の就労などの理由により保育を必要とする子どもも、受け入れを行うことである。保育時間は、最大で午前7時30分から午後6時30分までとなり、夏休みや冬休みなどの長期休業中も、保育の標準時間として利用が可能である。また、この間の給食も提供していく。

その他、議員提出議案である「刈谷市債権管理条例の制定について」は、債権管理上必要である督促や強制執行などの具体的な手続について規定されていないため、市民にとって債権管理の適正化とは何をすることなのかということがわかりにくいものとなっていることなどにより反対であるとの意見があり、採決しました結果、起立少数により否決されました。



公立幼稚園全16園を幼児園に移行

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉産業、建設、市民文教の各分科会で審査されました。3月18日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について、各分科会委員長より報告を受け、22日の本会議においていずれも原案のとおり可決されました。

また、井ヶ谷幼稚園大規模改修事業、校舎等改修事業などが本会議最終日に上程され原案のとおり可決されました。

補正後の予算(一般会計) 33億8,574万2千円

補正後の予算(一般会計) 613億7,900万8千円

補正後の予算総額(全会計) 950億6,986万1千円

【主な事業】 前新田排水機場を早期に更新し、排水能力を向上させます。



更新中の排水機場 (イメージパース)

※市民の方等から貴重なご寄附をいただきました。補正予算に計上し活用させていただきます。

・総務管理事業費として 30万円

・高齢者福祉施設事業費として 9万3千円

・老人ホーム事業費として 24万7千円

・児童福祉事業費として 20万円

・公園事業費として 123万4千円

委員会の動き

委員会では、議案の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

市民意識調査

アンケート結果でどのようなことが読み取れるか。

環境の整備に関する指標は全体的に上昇傾向である一方、行動などに関する指標が全体的に下降傾向である。

分析を踏まえ、今後どのような取り組みが必要か。

防災や防犯、環境などといった面では、今まで以上に自助、共助の部分が大切になってくることから、より共存・協働という視点を大切にした取り組みが求められると考えている。

その他「公共施設の維持管理」「避難所における電源確保」などが話し合われました。

福祉産業委員会

刈谷市自殺対策計画

計画推進委員会の設置が必要とのことだが、その内容は。

年に数回会議を行い、数値目標への評価、取り組みの進捗確認、事業についての意見を伺う予定である。

構成メンバーと人数は。

精神科医師、大学教授、企業の労働衛生に関わる職員、民生児童委員、子育てに関する活動をされている方など、市民と相談等で直接関わる機会の多い方で構成する予定であり、合計16名を考えている。

その他「重度障害者通所施設」「商店街」「家畜伝染病予防」などが話し合われました。

質問・質疑

市政のつとを問う

この定例会では2月27日・28日・3月1日の3日間で、19人が登壇し42項目にわたり、市政について質問・質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問・質疑項目（発言順）

（※）…掲載した項目

- 蜂須賀 信明 議員 災害避難所でのトイレ対応について
- 前田 秀文 議員 刈谷市の改正水道法の対応について
- 加藤 賢次 議員 市長の施政方針について
- 佐藤 充 議員 電線類地中化について
- 白土 美恵子 議員 土地区画整理事業について
- 稲垣 雅弘 議員 公共施設の禁煙・分煙について
- 神谷 昌宏 議員 刈谷駅北口の乱横断について
- 野村 武文 議員 機密管理について
- 山崎 高晴 議員 美恵子議員の任期について
- 新井 健治 議員 特別養護老人ホームの誘致について
- 山本 シモ子 議員 知的障害児のための特別支援学校について
- 上田 昌哉 議員 フタつき側溝の敷設促進について
- 外山 敏一 議員 歴史博物館の開館と展開について
- 鈴木 浩二 議員 刈谷城築城の白紙撤回について
- ※1 鈴木 浩二 議員 災害対策について
- ※2 外山 敏一 議員 新たな道路整備について
- ※3 山本 シモ子 議員 児童虐待対策の強化について
- ※4 山本 シモ子 議員 市民消費生活センターの充実について
- ※5 山本 シモ子 議員 小中学校での熱中症対策について
- ※6 山本 シモ子 議員 シモ子議員（平成31年度）予算案について
- ※7 上田 昌哉 議員 安倍政権と市長の政治姿勢について
- ※8 上田 昌哉 議員 教育長の教育行政の姿勢について
- ※9 外山 敏一 議員 刈谷市の子ども達について
- ※10 外山 敏一 議員 自死対策について
- ※11 鈴木 浩二 議員 自主防災会の活性化への取り組みについて
- ※12 鈴木 浩二 議員 児童虐待防止への取り組みの現状と今後の施策について
- ※13 鈴木 浩二 議員 平成31年度国家予算から見た、刈谷市への影響について

すべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

蜂須賀 信明 議員

大規模災害に備え、避難所に清潔で安心なトイレの確保を
— 備蓄の簡易トイレ等を活用するとともに、順次整備を行う —

問 災害時におけるトイレ整備の充実、ライフラインの一つ。現在、比較的大規模な公園11カ所にマンホールトイレを設置している。全避難所に当該トイレを整備する計画は。

答 市内37カ所の避難所のうち学校24カ所に、バランスを考慮して、順次整備していく。

問 簡易トイレ等の整備は。

前田 秀文 議員

（仮称）刈谷スマートICと岩ヶ池防災ダムの迅速な工事進行を
— 早期の完了を目指し、関係機関と連携を図っていく —

問 地元でも期待の高い（仮称）刈谷スマートインターチェンジの進捗状況は。

答 平成30年秋頃から工事を開始している。今後はアクセス道路となる県道へ新しく信号交差点を設置するなど、本格的な道路整備に着手し、2022年3月までの供用開始を目指している。

問 岩ヶ池防災ダム事業の進捗と効果は。

答 2021年度完了を目標に平成30年から工事に着手しており、今後は地盤改良や洪水吐の改修を施工していく。本事業

加藤 賢次 議員

防災・安全な交通確保・景観形成の観点から電線類地中化を
— 安全で快適な歩行空間の確保や災害に強いまちづくりを進める —

問 電線類地中化事業を進める路線は、どのような観点から選定されているのか。

答 「防災」「安全・円滑な交通確保」「景観形成、観光振興」の観点から選定を行い、緊急輸送道路や避難道路に該当する路線、鉄道駅と公共施設などを結ぶ経路に該当する路線などにおいて事業を実施している。

佐原 充恭 議員

15万市民の情報漏えい防止のため、機密管理の徹底を
— システム構築や撮影禁止ルールの導入により、強化を図る —

問 外部送信するメールの監視機能を強化する予定は。

答 上司にも同時に送信される仕組みを構築する方法などを検討している。また、その他の方法も研究しており、コストや運用面を考慮し、2019年度に予定している職員のメールアドレス等のグループウェアの更新時において強化を図りたい。

問 執務スペース内のカメラ撮影を禁止してはどうか。

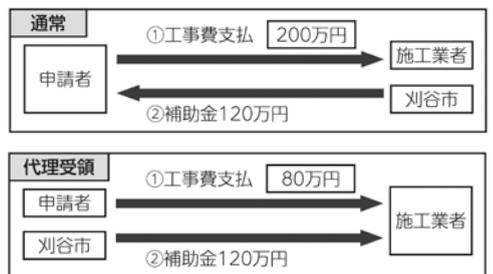
答 現状では、業務上必要な場合もあるため、庁舎管理規則に基づき、管理者の許可を得た

白土 美恵子 議員

耐震等の工事費用に「補助金の代理受領制度」の活用を
— 「補助金の代理受領制度」を8つの補助事業で活用が可能 —

問 以前から提言をしている木造住宅耐震改修費用に対する「補助金の代理受領制度」が実施されるとのことだが、概要は。

答 申請者が耐震等の補助金を受けて工事を行う場合、補助金の受領を工事業者へ委任することで、申請者は工事費用から補助金額を差し引いた額を工事業者へ支払えばよくなる。少ない自己資金でも工事を実施することができると、事業の促進に寄与するものである。現在、建築課では「木造住宅耐震改修費補助」、「取壊し費補助」、「ブロック塀等の撤去費補助」など



例) 200万円の工事の場合、代理受領制度を利用すれば自己資金80万円で工事を実施できます

稲垣 雅弘 議員

人が育つための基本となる幼児教育のさらなる資質向上を
— 子どもたちを慈しみながら、連携して施策を実施していく —

問 幼児の置かれている環境の変化に対応した幼児教育のあり方は。

答 忍耐力や自己制御、自尊心を幼児期から身につけること

（主な答弁者…総務部長）

上で認めている。今後は、執務室における個人所有の携帯電話での撮影は原則禁止とし、撮影が必要な場合は備品のカメラで撮影することを周知徹底する。



ルールを強化し、情報を守ります

（主な答弁者…建設部長）

8つの補助事業を実施しており、これら全ての補助事業において、2019年度から代理受領制度を活用できる。

（主な答弁者…次世代育成部長）

で、大人になってからの生活に大きな差が生じる。幼児期に育みたい資質・能力が幼稚園教育要領等で明確化され、健康・人間関係・環境・言葉・表現の5

- 星野 雅春 議員
 - ※1 刈谷市政の課題について
 - ※2 平成31年度予算について
- 渡邊 妙美 議員
 - ※1 災害時の命を守る対策について
- 鈴木 綱男 議員
 - ※1 亀城公園周辺の整備について
 - ※2 生産緑地制度について
- 中嶋 祥元 議員
 - ※1 第8次刈谷市総合計画策定について
- 新海 真規 議員
 - ※1 市民だよりについて
 - ※2 放課後児童クラブについて
 - ※3 雨水対策について

領域のねらいなどに基づき、5歳児後半の具体的な姿として「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」で示されている。その資質等は、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねていくことで育つため、家庭、地域、幼稚園等が連携し、幼児の健全な成長を促していくことが大切である。

神谷 昌宏 議員
子どもへのインフルエンザ予防接種費用に対する補助を
 —公益性と平等性の観点から、費用助成は考えていない—

問 今年もインフルエンザが猛威を振るったが、学級閉鎖の数はどのようか。
答 2月18日現在で、幼稚園は6園で16クラス、小学校は9校で25学級、中学校はなく、保育園では学級閉鎖を実施していない。
問 既に実施している自治体もあるが、インフルエンザ予防接種費用の補助を行う考えはないか。
答 現段階では感染や発症を防止する効果は弱く、1〜6歳未満児のワクチン有効率は20%



費用補助で予防接種の推進を

野村 武文 議員
機能・安全・美化の観点から、蓋つき側溝の敷設工事を早急に
 —財政状況を勘案しつつ、危険箇所から優先的に進めていく—

問 平成30年度の落蓋式側溝の整備延長及び事業費は。
答 整備延長は3.5キロメートル、事業費は約3億円の予定である。整備率は51%で、未整備延長は約4.24キロメートル

問 31年度の整備計画は。
答 約3.9キロメートルを整備予定で、事業費は約3億7千万円を見込んでいます。
問 今の進捗具合では、完了までに100余年かかる計算となる。進捗度を上げる考えは。
答 現在、側溝が深く危険な箇所や、通学路、排水の流れが

山崎 高晴 議員
命がけて活動する消防団員へ様々な支援を
 —準中型免許取得費補助制度を新設—

問 本市が被災地となった場合、緊急消防援助隊や自衛隊の派遣要請方法及び駐留場所は。
答 派遣要請は県を通じて行い、総合運動公園を駐留場所とする。当該公園において、情報共有や活動の調整を行う。
問 道路交通法の改正により、普通免許では本市のポンプ車の運転ができない。新たに準中型免許が必要になるが、取得する際の補助制度の内容は。
答 ポンプ車を運転できる免許を有しない消防団員が、準中型免許を取得するため自動車教習所に通う経費を補助するもので、補助率は5分の4、補助額の上限は15万円である。また2年以上在籍し、取得後3年以上活動する条件がある。



ポンプ車の運転ができる消防団員を確保し、地域の安全を守ります

新村 健治 議員
高齢者のために特殊詐欺被害の防止対策を
 —不審電話防止装置を65歳以上の人に販売している—

問 特殊詐欺被害防止のために市が行っていることは。
答 刈谷警察署等と連携し、チラシの配布や声かけをするなどにも、市民だよりやHPによる注意喚起、消費生活相談員等による講座を開催している。
問 本市で販売している不審電話防止装置とは何か。
答 電話による特殊詐欺等の被害を防止するため、65歳以上の方に1台2,000円で販売をしている。この装置は家庭の電話機に接続すると、電話の呼び出し音が鳴る前に「この会話



被害を未然に防ぎます

山本 シモ子 議員
非核自治体宣言を制定し、平和の礎を明確にすべき
 —平和への取り組みや市民が安心して暮らせるよう努めていく—

問 「自衛官募集に対して、6割以上の自治体で協力を得られていない」との安倍首相の発言が問題になっている。刈谷市の自衛官募集の実態はどうか。
答 自衛隊からの要請に基づき、募集記事を市民だよりに掲載するとともに、毎年7月上旬に市役所玄関口に懸垂幕を掲揚。
問 市役所内での原爆パネル展の継続と平和首長会議への加盟は大変喜ばしく評価する。次は、非核自治体宣言の制定を強く求めるが、市の考えは。
答 平和首長会議に加盟したことにより、核兵器廃絶への思いは伝えられていると考えている。2019年度は、原爆パネル展を8月6日から15日まで市役所会議室で開催予定である。



原爆パネル展は8月6日～15日 市役所会議室で開催予定

上田 昌哉 議員
アンケート調査をして、子どもの貧困の把握を
 —現状は生活保護受給者数などを指標として参考になっている—

問 子どもの貧困とは、どのような状態の子どもと捉えているか。
答 「愛知子ども調査報告書」では、絶対的貧困と相対的貧困があるとしている。絶対的貧困とは、衣食住などの生きていくために必要最低限な物資、経済力が欠けている状態を指し、相対的貧困とは、その社会で一般的となっている生活水準に達していない状況を指すとしている。
問 貧困と思われる子どもをどの程度把握しているか。
答 「愛知子ども調査報告書」によると、本市が該当する西三河南部西地域の子どもの貧困率は県全体より低い数字である。そのほか、生活保護受給者数なども指標として参考になっている。



様々な施策を計画し 子どもたちの生活を支援

外山 鉦一 議員
地区自主防災会の活性化に向け、本市のさらなる支援を
 —地区防災活動の充実強化に努め、積極的支援を行う—

問 自主防災活動活性化のために行政がなすべきことは何か。
答 自主防災会の育成、防災資器材等購入費の補助、防災リーダーの育成などである。
問 行政は定期的な話し合いの場を持ち、自主防災会の活性化について検討しているか。
答 各自立防災会相互及び行政との連携を目的に、自主防災

問 推進会議を年2回開催している。
問 所管部署である危機管理課において、自主防災会と一緒に活動を進める体制になっているか。
答 防災係が担当し、職員は防災に関する様々な研修等に参加し、知識を活かし、自主防災会に対し助言等を行い、要請により防災専門員を派遣している。

鈴木 浩二 議員
医療的なケアが必要な要介護者への対応の充実を
 —新たに特別養護老人ホームを整備され、サービスの充実が図られる—

問 医療的ケアを必要とする人が入所できる特別養護老人ホームがないと聞いた。特別養護老人ホームの市内の全待機者37人のうち、医療的ケアが必要な待機者数とケアの内容は。

答 平成30年8月1日時点で3人で、内容は経管栄養、たん吸引である。なお、このケアは、市内の一部の特別養護老人ホームでの対応が可能である。

問 医療的ケアに対応できる施設を整備する考えは。

答 計画に基づき、新たに整備する特別養護老人ホームの運営は、医療法人が母体のため、



新たに東境町に開所予定の特別養護老人ホーム (イメージパース)

星野 雅春 議員
ヤングケアラーに対し、子どもを守るといふ視点での対応を
 —ヤングケアラーという言葉の啓発し、社会の意識を高める—

問 ヤングケアラーに関する市の認識は。

答 ヤングケアラーとは本来大人が行うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に強いられる子どものことで、社会問題となつてると認識している。ヤングケアラーは子どもへの健やかな成長や教育の機会に影響を与えるため問題である。一方で、ベースには子どももなり家族愛があるため、その思いも尊重する姿勢が求められる。

問 ヤングケアラーの実態を把握した場合の対応は。

答 地域包括支援センターな



家族も自分もたいせつに

渡邊 妙美 議員
災害などの非常時に備えて、通信手段の整備を
 —無料のWiFi環境の構築と避難所に特設公衆電話を整備—

問 非常時に「KARITY FREE WiFi」は、どのように活用できるのか。

答 災害時には認証手続きなしで利用できる。また、災害発生時に誰もが無料で利用できるWiFi環境の構築にも努めている。

問 特設公衆電話とは何か。

答 大規模災害発生時に、市の要請でNTTが臨時で設置する発信専用の公衆電話である。

無料で利用することができ、停電でも通話可能で、災害時には優先的につながる。平成31年度から2年計画で、市の公共施設である31カ所の避難所に計60台を整備する予定である。

鈴木 綱男 議員
生産緑地法の改正内容と手続き方法の周知は、丁寧な対応を
 —説明会の開催や市民だよりなどによる周知を想定している—

問 法改正により創設された特定生産緑地制度を選択すれば、引き続き農地の保有や相続などに様々なメリットがある。選択しない場合は2022年以降、建築制限が継続されることに加え、固定資産税が宅地並み課税になるなど、土地所有者の負担が増える。土地所有者は何か手続きをしなければいけないのか。

答 市が土地所有者等へ意向確認を実施し、指定の同意を得する方法を予定している。

問 制度内容や必要な手続きを正しく理解できるように丁寧な対応が必要と思われる。今後の進め方は。

答 2019年度、説明会による周知後、指定の意向確認を実施することを考えている。

中嶋 祥元 議員
刈谷市が持続的に成長するための第8次総合計画策定を
 —時代の変化に対応できるように、検討を進める—

問 刈谷駅のペDESTリアンデッキを延伸し、利便性と安全性を高めるべきでは。

答 今後は再開発等、面整備の手法を検討し、県道知立東浦線横断部との一体整備を念頭に、回遊性を高める歩行空間形成とにぎわい創出を推進する。

問 高齢社会では健康づくり施策が重要である。公園や園道

答 現段階では、課題が多く難しいが、将来、車両の更新時には導入を検討していく。

新海 真規 議員
放課後児童クラブの受け入れ拡大を
 —支援員や場所の確保などの課題も踏まえ適切に検討していく—

問 保護者が夜間勤務により昼間家庭にいる場合、放課後児童クラブを利用できない理由は。

答 支援の対象を、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童としているからである。ただし、1年生は保護者の勤務時間による利用の配慮をしている。

問 不条理という意見があるが、利用条件を改める考えは。

答 基準を緩和すれば登録者や利用者が増える。児童福祉法の改正に伴い、6年生までの拡大を優先して行ってきたおり、2019年度中に全クラブにおいて適切な受け入れができるよう努めている。今後は、夜間勤務などの利用ニーズに備え、支援員や場所の確保などの課題も踏まえて適切に検討していく。

議会トピックス

議員研修でIT社会を学ぶ
 (2月4日)

市町村職員中央研修所副所長の牧慎太郎氏をお招きし、「ITで変わる地域社会の展望」についてご講演いただきました。

講演では、普段から広く利用されているSNSを活用し、災害情報を市民と共有しながら効率的に災害対応を行うことや、自治体業務において、AIなどの先進技術を駆使して事務の効率化を図り市民サービスの向上につなげるなど、先進事例を挙げながら約2時間にわたりお話しいただきました。大変参考となりました。

本市議会も、進歩し続けるIT技術を生かし、本市のさらなる発展を目指して様々な取り組みを推進していきます。

傍聴席にモニターを設置
 6月定例会から、傍聴席にモニターを2台設置します。

そのモニターから、議員と市当局とのやりとりや議員が質問の際に使う資料など、議場の様子が映し出されます。

また、議場に設置されているモニターも大型化され、よりわかりやすい議会へと変わります。ぜひ、傍聴にお越しください。



議会の様子を新しいモニターで!

かけはし

編集後記

◆桜の季節が過ぎ、新緑を楽しむ季節となりました。4月に入學や就職されたみなさんには、いろいろな出会いがあったかと思ひます。新生活が始まり、慣れない環境の中で悩みが生じた方もいらっしゃるかもしれません。本市には様々な相談窓口もあります。解決策の一つとして活用しながら充実した日々を送っていただけたらと思います。

◆5月1日から元号が変わり新たな時代が始まりました。新元号「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められています。本市でも歴史博物館が開館しました。歴史を継承しながら新たな文化を創出してまいります。

◆日本では、年々人口が減少しています。昨年は出生児数が死亡者数を40万人以上下回り、人口減少はますます深刻化していくことが予想されます。本市では、総人口が微増していますが、生産年齢人口や年少人口は減少しています。特に少子化には注視し、将来を担う子どもたちの笑顔があふれる刈谷市を維持し続けられるよう取り組んでまいります。

◆本市議会では、開かれた議会の実現に向けた取り組みを進めています。議会映像がスマートフォンからも視聴できますので、ぜひ、議会ホームページをご覧ください。

(議会広報委員会)